

シンポジスト等略歴

【トークセッション：黒潮町と高知市下知地区における多くの住民が参加する仕組みづくり】

大谷清水（おおたに きよみ） 黒潮町坂折（さこり）地区自主防災会会長

坂折地区自主防災会会長、黒潮町自主防災会副会長。津波避難時の地区独自ルールづくり等地区防災に積極的に取り組む。

坂本あや（さかもと あや） 黒潮町芝地区自主防災会役員

芝地区自主防災会で防災アドバイザーとして活動。地区防災計画作成のワークショップや防災関連活動における中心的な役割を担う。

西村健一（にしむら けんいち） 高知市下知地区減災連絡会副会長

下知地区減災連絡会副会長、二葉町自主防災会情報班長、下知コミュニティ・センター防災部会長等を歴任し、地区防災計画の内閣府モデル事業エントリーの発案者。

松本志帆子（まつもと しほこ） 高知市下知地域内連携協議会理事

下知地域内連携協議会理事、薫工ミュージアム学芸スタッフで、防災とアートや障がい者、子どもの視点を取り入れながら、地域の防災活動や地区防災計画検討会にも参加。

徳廣誠司（とくひろ せいじ） 黒潮町情報防災課長

黒潮町情報防災課で南海トラフ地震対策のみならず風水害・土砂災害等の一般災害も含めた総合的な防災対策に従事。

鍵屋 一（かぎや はじめ） 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授



1956年生まれ。京都大学博士（情報学）。1983年板橋区役所入区。危機管理担当部長、議会事務局長等を経て現職。内閣府地区防災計画制度有識者懇談会委員、（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事、（一社）マンションライフ継続支援協会副理事長、地区防災計画学会幹事等を歴任。

【シンポジウム：地区防災計画の現状と課題】

室崎益輝（むろさき よしてる） 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・地区防災計画学会会長



1944年生まれ。京都大学博士（工学）。神戸大学都市安全研究センター教授、消防研究所理事長、関西学院大学災害復興制度研究所長等を経て現職。日本火災学会会長、日本災害復興学会会長、地区防災計画学会会長、消防審議会会長、ひょうごボランティアプラザ所長等を歴任。

矢守克也（やもり かつや） 京都大学防災研究所教授・地区防災計画学会副会長



1963年生まれ。大阪大学博士（人間科学）。専門は、社会心理学、防災心理学。地区防災計画学会副会長、日本質的心理学会常任理事、日本グループ・ダイナミクス学会常任理事、自然災害学会理事・評議員、日本災害情報学会理事、日本災害復興学会理事、国際総合防災学会理事等を歴任。

加藤孝明（かとうたかあき） 東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター准教授



1967年生まれ。東京大学博士（工学）。東京大学工学部総合試験所助手、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助手、助教を経て2010年より現職。専門は、地域安全システム学、まちづくり、都市計画。地区防災計画学会理事、地域安全学会理事、日本災害復興学会理事等を歴任。

磯打千雅子（いそうち ちかこ） 香川大学 IECMS 地域強靱化研究センター准教授



岐阜県生まれ。香川大学博士（工学）。香川大学危機管理研究センター特命准教授等を経て現職。専門分野は、地域防災、危機管理、事業継続計画（BCP）、地域継続計画（DCP）。香川県防災会議委員、内閣府地区防災計画制度有識者懇談会委員、地区防災計画学会理事等を歴任。

西澤雅道（にしざわ まさみち） 福岡大学法学部准教授（内閣府より派遣）



1973年生まれ。中大法卒。専門は公法・行政学。1999年総理府・総務庁に入り、総務省総合通信基盤局事業政策課課長補佐、内閣官房内閣広報室総括補佐、内閣府大臣官房総務課企画調整官等を経て現職。内閣府防災担当時代に地区防災計画制度を企画立案。地区防災計画学会会長代理等を歴任。